

平成27年
消防概況

土岐市消防本部

火災概況

前年と比較すると、火災件数は減少しましたが、死傷者数は増加しました。

○ **火災件数**

平成27年中における市内での火災件数は**19件**で、平成26年と比べると6件の減少となりました。火災による損害額は、78,404千円増加しました。

○ **死傷者**

死傷者数は**4名**で、内訳は、死者1名、負傷者3名でした。

○ **消防団の出動**

19件発生した火災のうち、消防団が出動した件数は**0件**でした。

○ **原因別**

原因別では、放火3件、火入れ2件、たき火1件、ストーブ1件、こんろ1件、その他5件、不明・調査中6件でした。

○ **火災種別**

火災種別ごとに見ると、**建物火災が10件**で最も多く発生し、林野火災0件、車両火災4件、その他の火災が5件発生しました。平成27年は消防団を召集するような大規模な火災は発生しませんでした。8月に核融合科学研究所実験棟で火災があり、請負業者の作業員が2名死傷しました。

○ **土岐消防の対策**

毎年火災により尊い命や財産が失われ、死傷者の多くは住宅火災で発生し、その多くは高齢者となっています。

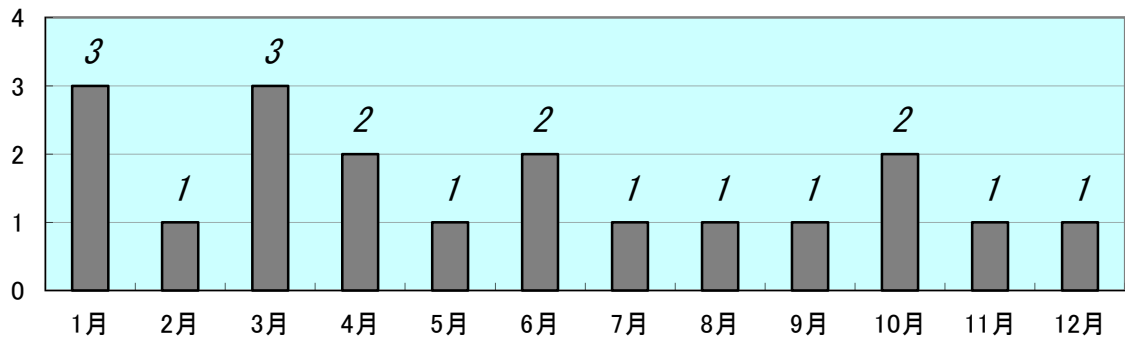
土岐市では、火災による死傷者を低減するため、住宅用火災警報器設置の呼びかけなどの「住宅防火対策」、警戒巡視などによる「放火火災防止対策」、各施設への立入検査および、消防訓練の立会いなどによる「不特定多数の方が利用される施設や、福祉施設などの防火安全対策」を重点推進項目として火災のない安心して暮らせるまちづくりをおこなってまいります。

過去3年間の火災状況と昨年との比較

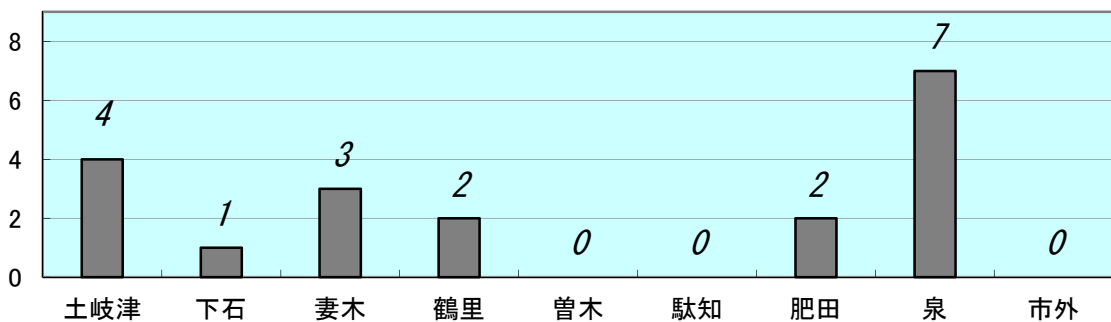
		平成25年	平成26年	平成27年	増減
火災件数	合計	33	25	19	-6
	建物火災	15	12	10	-2
	林野火災	5	1	0	-1
	車両火災	5	3	4	+1
	その他の火災	8	9	5	-4
者 死 数 傷	死者	1	1	1	0
	負傷者	1	1	3	+2
損害額（千円）		44,925	12,843	91,247	+78,404

平成27年12月28日の火災については損害額調査中のため含めない

月別火災件数



地区別火災件数



救急概況

65歳以上の救急事案が全体の66%を占めています。

○ 救急件数

平成27年中における救急件数は2,412件で、平成26年の2,435件と比較して23件の減少となりました。これは、1日平均約6.61件出動したことになります。

搬送人員は2,305人で市民約26人に1人の割合で救急搬送されていることとなります。

全国的な高齢化の進行により、本市においても全搬送人員の約66%を65歳以上の高齢者が占めています。

(平成27年11月末日の人口59,881人より)

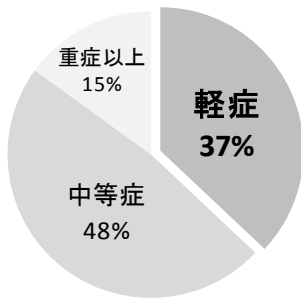
○ 最も多く発生した事故種別は急病

救急事故種別では、急病1,491件で平成26年と比較して4件の増加、一般負傷342件で27件の減少、交通事故196件で15件の減少、その他383件で15件の増加となりました。

○ 約4割は軽症程度

救急搬送した2,305人のうち約4割にあたる862の方が、医師により入院の必要がないと診断された「軽症」の方でした。本当に救急車が必要な人のもとへ1秒でも早く救急車を到着させ、大切な命を救うために、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

傷病程度の割合

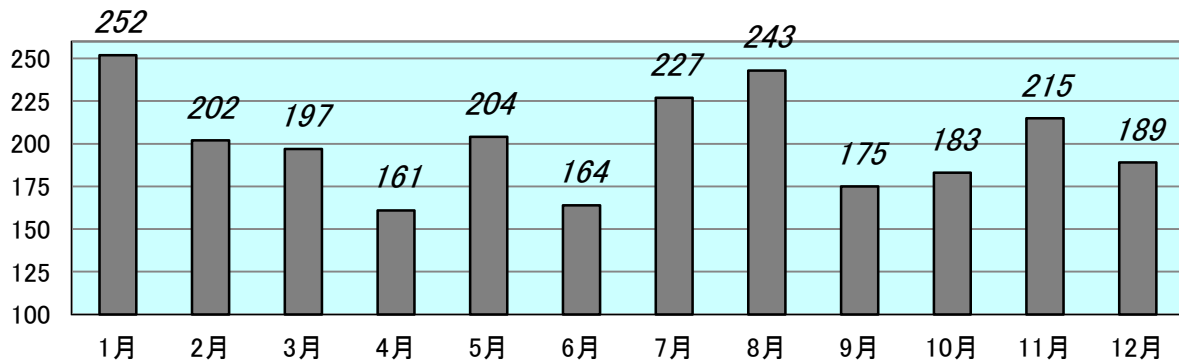


軽症…入院を必要としないもの
 中等症…傷病の程度が重症または軽症以外のもの
 重症…3週間以上の入院加療を必要とするもの

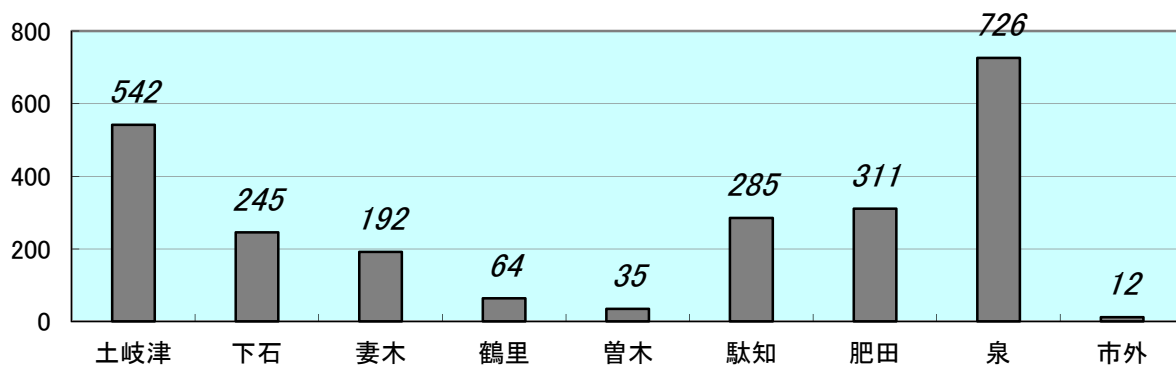
過去3年間の救急状況と昨年との比較

		平成25年	平成26年	平成27年	増減
救急件数	合計	2,392	2,435	2,412	-23
	急病	1,479	1,487	1,491	+4
	一般負傷	353	369	342	-27
	交通事故	238	211	196	-15
	その他	322	368	383	+15
搬送人員		2,289	2,318	2,305	-13
1日平均件数		6.55	6.67	6.61	-0.06

月別救急件数



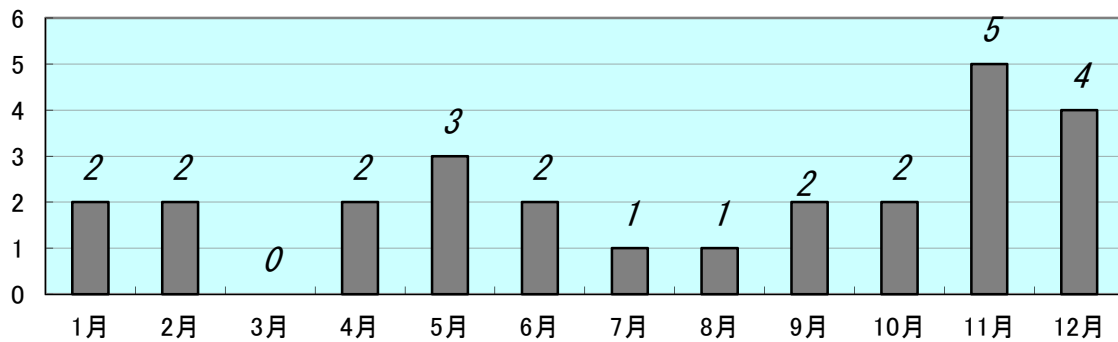
地区別救急件数



過去3年間の救助状況と昨年との比較

		平成25年	平成26年	平成27年	増減
救助 件数	合計	26	28	26	-2
	交通事故	18	18	23	+5
	その他	8	10	3	-7
活動件数		13	13	11	-2
救助人員		13	14	15	+1

月別救助件数



地区別救助件数

